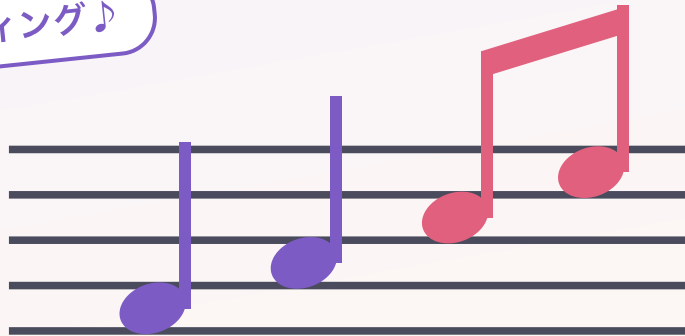


スウィング♪



その場でひらめく！

ジャズ

その場で生まれる、自由な音楽



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょ

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まりま

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

ジャズの入り口	3～9
ジャズを知る	10～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

ジャズとは

ジャズは、その場でつくり出す自由さが魅力の音楽です。

ジャズとは、**即興（アドリブ）を大きな特ちょうとする音楽**です。

決まった旋律をなぞるだけでなく、演奏者がその場で新しいメロディを生み出していきます。アメリカで生まれ、今では世界中で演奏されるジャンルになりました。



ジャズのキーワード

即興（アドリブ）

スウィング

ブルース

セッション

同じ曲でも、演奏するたびに少しずつちがう表情になるのがジャズの面白さです。

ポイント

- サクソフォンやトランペット、ピアノなどがよく使われる楽器です。
- 決まった正解の演奏がなく、演奏者ごとの個性が強くなります。

やってみよう

1. 「その場でつくる音楽」と聞いて、どんなイメージをもちますか。

書いて覚えよう

ジャズの生まれ

ジャズは、アメリカのある街で生まれたといわれています。

ポイント

- 19世紀末から20世紀の初め、アメリカ南部の街ニューオーリンズを中心に生まれました。
- アフリカから伝わったリズムの感覚と、ヨーロッパの和音のしくみが混じり合っていました。
- 労働歌や教会の音楽、行進曲のブラスバンドなど、さまざまな要素が土台になっています。

やってみよう

1. ちがう文化が混じり合って新しいものが生まれる例を、ほかに知っていますか。

書いて覚えよう

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

blues

苦しみや悲しみを歌にのせた、アメリカ生まれの音楽

- 同じ長さのコード進行を1つの型として、何度もくり返すのが特ちょうです。
- 音階の途中を少し低めにとる「ブルーノート」という独特の音づかいがあります。
- ジャズの即興は、このブルースの型を土台にしていることがよくあります。

1. 「悲しみを音楽で表す」としたら、どんな声の出し方をしますか。

一般社団法人文化芸術支援協会 | ジャズ 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

スウィング

はねるようなリズムが、ジャズらしさをつくれます。

スウィングするリズムのイメージ



均等な8分音符ではなく、少しはねるように「タッ・タ」と演奏するのがスウィングです。

スウィング

swing

8分音符を均等ではなく、はねるように演奏するリズムの感じ方

ポイント

- 楽譜とおりの均等なリズムより、少しゆれた感じが「ノリ」を生みます。
- スウィングを体で感じるのが、ジャズを楽しむ大きな入り口になります。

やってみよう

1. 「タッ・タ、タッ・タ」と声に出しながら、足でリズムをとってみよう。

書いて覚えよう

大人数の編成で演奏される、はなやかなジャズの形です。

big band

サクソフォン・トランペット・トロンボーンなどのセクションからなる大編成のジャズ楽団

ポイント

- 1930～40年代にかけて、ダンス音楽として大きな人気を集めました。
- 楽器のセクションごとに旋律をかけ合いながら演奏するのが魅力です。

やってみよう

1. 大人数で演奏する音楽の良さを、1つ考えて書こう。

書いて覚えよう

速く複雑な、聴かせるためのジャズも生まれました。

bebop

1940年代に生まれた、少人数で速く複雑な即興を聴かせるジャズの形

- ダンスのためではなく、じっくり聴くための音楽として発展しました。
- 速いテンポと、複雑な和音を使った即興が大きな特ちょうです。

1. 「聴くための音楽」と「おどるための音楽」、それぞれの良さを書こう。

一般社団法人文化芸術支援協会 | ジャズ 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

楽譜に書かれていない旋律を、その場で自由につくり出すこと

- コード（和音）の流れという「地図」の上を、自由に演奏していきます。
- 同じ曲でも、演奏するたびにアドリブの内容は変わります。
- アドリブには、日ごろの練習で身につけた感覚が生かされます。

1. 決まった台本なしで話すとしたら、どんな話をしますか。

9

ジャズの楽器とジャズピアノ

ジャズでよく使われる楽器と、ピアノの役わりを知ろう。

サクソフォン

saxophone

金属製で、木管楽器に近い音の出し方をする

ダブルベース

double bass

低音で一定のリズムをきざむ、弦楽器

ポイント

- ピアノは、和音を演奏しながら（コンピング）、ときに主役のメロディも弾きます。
- サクソフォンやトランペットは、アドリブの主役になることが多い楽器です。
- ドラムとベースが、全体のリズムをささえます。

やってみよう

1. ジャズでよく使われる楽器を、上のもの以外に1つ考えてみよう。

書いて覚えよう

ジャズの歌

声も、楽器のようにアドリブする文化があります。

スキヤット

scat singing

意味のない音の並びで、声を楽器のように即興で歌う歌い方

ポイント

- 「ダバダバ」のような音を使って、声でアドリブの旋律をつくります。
- 歌詞のある歌と同じくらい、スカットもジャズの大切な表現方法です。

やってみよう

1. 「ダバダバ」と声に出して、自由にメロディをつくってみよう。

書いて覚えよう

ジャズのリズム

リズムのずらし方に、ジャズらしさが表れます。

シンコペーション

syncopation

強く感じる拍の位置を、意図的にずらすリズムの技法

ポイント

- ふつうは強く感じる拍を、あえて弱くしたり、逆にずらしたりします。
- このずれが、体を動かしたくなるような「ノリ」を生み出します。

やってみよう

1. 4拍子を手拍子しながら、2拍目と4拍目だけ強くたたいてみよう。

書いて覚えよう

chord progression

曲の中で和音がどう移り変わっていくかの順序

- 演奏者は、このコード進行を頭に入れながらアドリブを組み立てます。
- ジャズでは、3和音より複雑な和音（7度・9度を重ねた和音など）がよく使われます。

1. 「道しるべ」があると自由に動きやすい、という感覚をほかの場面でも考えてみよう。

一般社団法人文化芸術支援協会 | ジャズ 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

着目するポイントを決めると、ジャズがぐっと楽しくなります。

ジャズの名曲

多くのジャズ曲には、みんなが知っている「共通の型」があります。

スタンダードナンバー

多くの演奏者が共通して演奏する曲は「スタンダードナンバー」とよばれます。同じ曲でも演奏者によって表情がまったく変わるのが、ジャズの醍醐味（だいごみ）です。

ポイント

- 12小節ブルースは、もっとも基本的な型のひとつとして広く知られています。
- 同じ曲を聴きくらべると、アドリブの部分のちがいがよくわかります。

やってみよう

1. 同じ曲をちがう演奏で聴きくらべてみたいと思いますか。 _____

書いて覚えよう

日本のジャズ

ジャズは、日本でも古くから親しまれてきました。

ポイント

- 第二次世界大戦後、日本でもジャズが大きな人気を集めるようになりました。
- 「ジャズ喫茶」とよばれる、レコードを聴くための専門の店も広まりました。
- 今も日本各地に、生演奏を楽しめるライブハウスがあります。

やってみよう

1. 近くにライブハウスやジャズ喫茶があるか、調べてみよう。

書いて覚えよう

和音の考え方や編成にえいきょうを与え合った

南米のリズムと結びついた演奏もある

コードやアドリブの考え方が受けつが
れている

ポイント

- ジャンルとジャンルが混じり合うことを「フュージョン」とよぶこともあります。
- ジャズの自由な発想は、多くの音楽ジャンルに影響をあたえています。

やってみよう

1. 3つのうち、いちばん組み合わせてみたい音楽はどれですか。

書いて覚えよう

かんたんなアドリブに挑戦・ジャズの楽しみ方

むずかしく考えず、まずは音を出す楽しさを味わおう。

アドリブのもとになる音



ド・ミ・ソの3つの音を自由な順番で歌うだけでも、かんたんなアドリブになります。

ポイント

- 決まった正解を探さず、まずは声や手拍子で自由に音を出してみましょう。
- ライブハウスで生の演奏を聴くのも、ジャズを楽しむ大きな方法です。
- リラックスして、体でリズムを感じながら聴くのがジャズの楽しみ方です。

やってみよう

1. ド・ミ・ソの音を、好きな順番と長さで歌ってみよう。

書いて覚えよう

聴いてくらべよう

2つのジャズの曲をくらべると、ちがいがよくわかります。

くらべるところ	曲A	曲B
編成	ビッグバンド・小さな編成	ビッグバンド・小さな編成
テンポ	速い・ふつう・ゆっくり	速い・ふつう・ゆっくり
主役の楽器	_____	_____
感じ	_____	_____

ポイント

- ビッグバンドの曲と、少人数の曲をくらべると、編成のちがいがよくわかります。
- 主役の楽器がアドリブしている部分に注目してみましょう。

やってみよう

1. ビッグバンドの曲と、少人数編成の曲を1曲ずつえらんで、表を完成させよう。

書いて覚えよう

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

セッションの感覚を、手拍子と声で体験してみよう。

A (一定のリズムで) タン・タン・タン・タンと手をたたく

B (自由なリズムで) その上に自由な手拍子を重ねる

A (続ける) リズムを保つ

B (声で自由に) 「ダバダバ」と自由に歌う

A (続ける) _____

B (役を交代) _____

ポイント

- Aが一定のリズム（ベース役）、Bが自由なアドリブ役になる遊びです。
- 慣れたら役を交代して、両方の楽しさを体験してみましょう。

ワンポイント アドリブは失敗をおそれず、まず声や音を出してみることから始まります。

書いて覚えよう

ジャズが聴きなれない人も、コツをつかめば楽しめます。

よくあること

アドリブでくずれて聴こえる

はねる感じがつかめない

こうしてみよう

そこから変化を聴く

体でスウィングを感じる

22

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

ジャズの基本

☐ アドリブ

その場で旋律をつくること

☐ スウィング

はねるようなリズムの感じ方

☐ ブルース

苦しみや悲しみを歌にのせた音楽

編成

☐ ビッグバンド

大編成のジャズ楽団

☐ セッション

その場で一緒に演奏すること

リズム・和音

☐ シンコペーション

拍の位置をずらす技法

☐ コード進行

和音の移り変わりの順序

歌

☐ スキャット

声で即興で歌う歌い方

☐ スタンダードナンバー

多くの演奏者が演奏する曲

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、ジャズがもっと自由に楽しめます。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|--------|---|--------------------|
| アドリブ | ● | ● ア. はねるようなリズムの感じ方 |
| スウィング | ● | ● イ. 声で即興で歌う歌い方 |
| ビッグバンド | ● | ● ウ. その場で一緒に演奏すること |
| セッション | ● | ● エ. 大編成のジャズ楽団 |
| スカット | ● | ● オ. その場で旋律をつくること |

2. ジャズの大切な要素を3つ書こう

1. _____
2. _____
3. _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. その場でメロディをつくること → (アドリブ / 楽譜)
2. 演奏者どうしが集まって一緒に演奏すること → (セッション / リハーサル)

書いて覚えよう

書いて覚えよう

ジャズの曲を1曲、聴いて1日をスタート

スウィングのリズムに足でノる

「ダバダバ」と自由に歌ってみる

気に入った楽器を1つ書き出す

聴いた曲の感想をノートに書く

家族にスキットを聴かせる

ポイント

- 1回5分でも、毎日続けることがいちばんの力になります。
- リラックスして聴くことが、ジャズを楽しむいちばんのコツです。

書いて覚えよう

発表してみよう・感想を書こう

好きなジャズの曲を、人に伝えてみよう。

曲名

編成

好きなところ

主役の楽器

聴いてほしい人

Emma の例

曲名 ジャズスタンダードの一曲／編成 ピアノトリオ／好きなところ ピアノの自由な即興／主役の楽器 ピアノ／聴いてほしい人 リラックスしたい友だち

感想を3文で書こう

① この曲は、～な感じがしました。② とくに、～のところが印象に残りました。③ それは、～からです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

ジャズの世界は、ここからどんどん広がります。

もっと知りたい人へ

動画で

生演奏の映像をじっくり見る

図書館で

ジャズの本を借りてみる

ライブハウスへ

生演奏を聴きに行く

次のステップ

ポップス・ロック

またちがう自由な音楽を知る

コード

和音の重なりを学ぶ

アドリブ

自分でも音を出してみる

ポイント

- この教材の次は「ポップス・ロック」。今の暮らしに近い音楽の世界へ進みます。

書いて覚えよう

ジャズチャレンジ

教室の外でも、ジャズのノリはすぐに楽しめます。

見つけよう

お店で流れているジャズをさがす

聴こう

同じ曲のちがう演奏を聴きくらべる

表そう

ド・ミ・ソの音で自由に歌ってみる

こたえ

L26 アドリブ→オ スウィング→ア ビッグバンド→エ セッション
→ウ スキャット→イ 2. アドリブ / スウィング / ブルース 3.
アドリブ / セッション

L33 (例) ジャズは、アドリブとスウィングを大切にする、自由
に生まれ変わり続ける音楽。

書いて覚えよう

ジャズ (Season 6 | No.57)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。